

# きれいな甲斐

No.38 MARCH 2007

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。

環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

## 環境パートナーシップやまなし

事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県循環型社会推進課内  
TEL.055-223-1506 FAX.055-223-1507 ✉junkan@pref.yamanashi.lg.jp  
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/junkan/60200266375.html>

発行責任者 ● 広報専門部会長 神宮寺 聡



古紙配合率100%再生紙を使用しています

## 新エネルギー施設に行ってきました

### 東山梨地域 環境パートナーシップ会議 (事務局：峡東林務環境事務所内)



私たち東山梨地域環境パートナーシップ会議では、環境に配慮した行動や環境問題の解決に向けた活動が、地域ぐるみで行われ根付いていくよう、自主的な実践活動の積極的な推進を図っていくこととしています。

具体的な活動として、ゴミ減量等の研修会の開催、河川水質調査、クリーンキャンペーン、ケナフの栽培などを行っていますが、今回は平成16年度から実施しております「地球温暖化防止活動推進事業」について紹介したいと思います。

今年は、施設見学を通して会員の知識を深める為に、1月25日（木）に甲府市にある「向山塗料」「甲府市南部市民センター」の新エネルギー施設を19名で見学してきました。

向山塗料では、BDFプラントを見学しました。このプラントでは、廃棄物として捨てられている廃食油からグリセリンを取り除き、メタノールと苛性カリを加えて化学反応させ、軽油と同じ成分のBDFを精製しリサイクルに貢献していました。また、そのBDFで実際に走っている車もあり、軽油との臭いの違いなどに皆さん関心があったようです。その後は、場所を移動し廃食油の回収や菜の花プロジェクトなどの活動内容を説明して頂きました。皆さん積極的に質問もされていました。

午後には、甲府市南部市民センターへ行き、NPO法人みどりの学校の芦澤公子さんに講師をお願いして、地球温暖化の講演会を開きました。気温の上昇する速度が年々早くなってきていることや、太陽光発電の取り組みなどを説明して頂きました。また、その後は市民センターに設置している太陽光発電を見学しました。発電した電気はその施設で使用し電気購入量の削減に役立てたり、災害時には市民の方々の非常電源にもなるなど、興味深い話を皆さん熱心に聞き、質問も活発にされていました。

研修後のアンケートでは、

- ・地球温暖化を深刻に考え、自分の足下から少しずつ広げていかなければいけないと感じた。
- ・家庭の油の捨て方に困っていたので、エネルギーに変えられることが実際に機械を見ることでわかった。
- ・自分の知らない所で真剣に取り組みがなされている事に驚いたと同時に、どの取り組みも環境と真剣に向き合わなければ出来ないと思った。
- ・行政・地域が一体となり、環境問題・温暖化問題を克服していきたい。
- ・自分たちで菜の花作りをしていけたら良いと思う。 などがありました。

また、パートナーシップ会議では、平成16年度からレジ袋の削減のためにマイバッグの普及に取り組んでいます。今年度も、地域の方たちから204個の注文があり関心の高さが伺えました。これまでは、無償で配布していましたが、今年は費用の一部として100円を負担してもらい、自覚して使ってもらえるよう推進しました。

今回の研修を通して、廃食油のリサイクルやマイバッグを持ち歩くなど、自分にできることから始めていき、少しでもゴミ減量・温暖化の防止に貢献できたらと思います。

私たちは、今後も地道な活動を行い、一人でも多くの方たちに環境問題について関心をもって頂けるよう、活動を続けていきたいと思っています。





# 山梨県地球温暖化防止活動推進センター

- 本県の温暖化防止センターは、事務所や職員の確保、活動の参加・協力体制等、県民の持つエネルギーと底力を結集した「民力（民間主導）」により、設置・運営されるセンターです。平成16年12月24日に温暖化防止センターの設置・運営を担う団体として、当会会員のNPO法人フィールド'21が指定されました。

山梨県地球温暖化防止活動推進センターでは、地域における温暖化防止活動の取組の拠点として、住民等からの照会相談・情報提供、学校での地球温暖化防止教室の開催他、各地域での普及啓発活動、山梨県地球温暖化防止活動推進員等の支援活動を行っております。

今年度、当センターでは、山梨県地球温暖化防止活動推進員を対象として、温暖化防止活動普及啓発のための技術や地球温暖化に関する最新の知識及び対策等について地域の実情に応じた研修を実施しております。県内の推進員117名が一堂に会する全体研修会を年2回、県内を6地域に分けて、講義や地域推進員同士の意見交換会を行った地域別研修会を6回実施いたしました。

平成19年2月15日に開催した2回目の全体研修会では、各地域推進員の活動発表会と特別講演を行い、講師に「環境漫才」というテーマでラジオ、テレビ、各種慰問と活躍されております林家ライス・カレー子氏をお招きし、「地球温暖化防止明るく元気で一生懸命推進」と題して講演をいただきました。楽しい語り口の中にも、確かなデータに基づいた日本の現実と私たちが日々取り組んでいかなければならない事などを教えていただきました。

普及啓発広報事業では、各地域でのイベントへ積極的に参加し、温暖化防止に関するアンケートやマイバッグの進呈によるレジ袋抑制のピーアールを行いました。

また、平成18年8月から平成19年2月まで、山梨県との協働による「アイドリングストップ及びCO<sup>2</sup>対策車の利用促進キャンペーン」を山梨県総合交通センター（南アルプス市下高砂）にて、運転免許取得や更新者に対して毎月2回温暖化防止に関するアンケートやエコドライブ運動への参加を呼びかけました。これは、大気汚染防止、地球温暖化防止対策として、昨年10月に山梨県でアイドリングストップに関する条例が施行され、山梨県内で排出されるCO<sup>2</sup>の約4割は自動車から排出されており、一人でも多くの運転者にエコドライブやアイドリングストップの必要性を認識していただくための事業です。運転免許取得者や更新者の約840人の方にアンケートやエコドライブ宣言にご協力をいただきました。

京都議定書に基づく温室効果ガス削減の第1約束期間がいよいよ来年に迫り、益々、私たち一人ひとりの日頃の取組がとて重要になっています。

今後も、県民、事業者、行政、関係団体等と一体となり地球温暖化防止活動の推進を図って行きたいと思っております。



総合交通センターにて



林家ライス・カレー子氏

## 所在地・連絡先

〒400-0035  
山梨県甲府市飯田4-1-21  
TEL: 055-228-3830  
E-mail: field-21@rose.plala.or.jp





## (財) やまなし環境財団

やまなし環境財団は、県が民間の篤志家からのご寄附をもとに、民間団体の自発的な環境保全への取り組みを支援することを目的に、平成9年に設立された団体です。

平成19年1月27日(土)、アイメッセ山梨において「やまなし環境活動ネットワーク集会」が開催され、約80人が参加しました。この集会は、県内で環境保全に向けた活動を行っている個人・団体に交流の場を提供し、参加者の相互理解と県内全域のネットワークづくりを推進するため、年に一度開催されているものです。

### ●「若宮賞」表彰式

「若宮賞」は、県民の皆さんの自主的な環境保全への取組を育て、広く紹介することを目的に、県内各地で優れた環境保全活動を継続して行っている個人や民間団体を表彰する制度で、18年度は以下の団体が表彰されました。

#### 団 体

- ・清里西原地区花づくりの会(北杜市)
- ・生活協同組合コープやまなし(甲府市)
- ・生ごみリサイクルを推進する会(富士見町ボカシの会)(南アルプス市)
- ・山路会(市川三郷町)

#### 個 人

- ・櫻田 泰富さん(南アルプス市)
- ・山田健一郎さん(甲斐市)

### ●「感謝状」贈呈式

平成17年度に、「民間団体の環境保全活動を支援するための資金」としてご寄付いただいた以下の団体の皆さんの善意に対し、感謝状が贈られました。

- ・(社)山梨県トラック協会女性部会
- ・山梨県商工会女性部連合会

### ●「環境保全活動リレーセミナー」

県内で環境保全に関する実践活動、普及啓発活動、調査・研究活動等を行っている以下の団体の皆さんが、活動事例や課題などを自由に発表し、参加者と意見交換を行いました。

パソコンを使った映像の紹介や、環境紙芝居の披露など、多彩な発表に対し、参加者から、素朴な質問から専門的な意見まで数多くの声が出され、活発な議論が行われました。また、集会終了後には、個々に意見交換が行われるなど、参加者相互のネットワークづくりも随所に見られました。



#### ◀発表団体▶

- ・山梨県地球温暖化防止活動推進センター
- ・甘利山倶楽部
- ・日本野鳥の会富士山麓支部
- ・北杜市バイオディーゼル燃料を考える会
- ・生ごみリサイクルを推進する会(富士見町ボカシの会)

### 助成事業のお知らせ

県内における民間活動団体の皆さんの自発的、継続的な環境保全に向けた活動に必要な経費の助成事業を行っています。平成19年度の募集期間は5月1日から6月1日の予定です。

#### ◎対象となる団体等と活動

活動の本拠としての事務所を県内に有し、県内で環境保全活動をしている又はこれから取り組もうとする営利を目的としない団体等が行う活動。

- 環境保全に関する実践活動
- 環境保全に関する普及啓発活動
- 環境保全に関する調査・研究活動

※ただし、行政やそれに準じる機関から補助や企業からの寄附を受けている活動については、助成金の対象となりません。

#### ◎助成内容

- スタートアップ助成

環境保全活動を新たに開始または開始後3年未満(平成19年6月1日現在)の団体等の活動に対して助成します。助成率:10/10で20万円を限度とします。

- ステップアップ助成

環境保全活動を開始後3年以上(平成19年6月1日現在)行っている団体等の活動に対して助成します。助成率:1/2以内で20万円を限度とします。

◎お問い合わせ先:山梨県循環型社会推進課内 TEL.055-223-1503

# 勸助の もったいない風呂敷



韮崎市竜岡町みだいスカイタウン区の主婦グループ4人が、ごみ減量化へ向けて地元主婦の意識啓発を目的として「もったいない風呂敷」を作りました。

この取り組みは、メンバーの一人が昨年10月に、県民情報プラザ（甲府市）で開催された県主催のマイバッグキャンペーン展で、小池百合子前環境大臣がプロデュースした「もったいない風呂敷」を見たのがきっかけとなりました。

韮崎市は武田氏発祥の地であり、「武田の里・にらさき」のPRになるようにと、この風呂敷には武田信玄の軍師・山本勘助の切り絵がプリントされています。この切り絵は、平成19年NHK大河ドラマ「風林火山」に合わせて県民情報プラザで開催されている「甲斐の国 風林火山博」の公式クリエイターである富士吉田市出身の切り絵作家・百鬼丸さんが手がけた作品です。

風呂敷は木綿製で縦横80cm、汚れが目立たないようにと紺色であり、300枚作製され、区内の約60世帯に無料配布されました。作製には韮崎市内に本部を置くスーパーやまと（小林社長）が協力しました。現在スーパーやまとのファンクラブ会員で、レジ袋をもらわずにこの風呂敷を使った場合は、5ポイントを加算するサービスを実施しており、地元住民と企業が一体となってごみ減量化に向けた取り組みを行っています。

また、これを環境省が知ることとなり、1月23日（火）環境省において、若林環境大臣出席の贈呈式が行われました。若林環境大臣に、勸助のもったいない風呂敷を贈呈し、大臣からは小池前環境大臣デザインの「もったいない風呂敷」が贈られました。

若林大臣からは、「国民一人ひとりのちょっとした気遣いや、小さな活動の積みかさねが、温室効果ガス削減へつながっていく。今後も一層、努力してほしい。」との言葉がありました。

なお、これが縁となり、同区に百鬼丸さんの制作活動を支援する「チーム百鬼丸」韮崎支部もでき、「風林火山」にちなんだTシャツ、トレーナー、バンダナ、キーホルダーなどのグッズも取り扱うこととなりました。

風呂敷及びグッズに関する問い合わせは高木まで。（同区公民館長TEL：090-4244-7079）



環境省で若林大臣と



韮崎市役所で横内市長（真中）、  
小林社長（左後）と

## お知らせ

- 購入のご要望が多いため、現在「風林火山博」での販売を準備中です。
- 今年5、6月頃に、東京エレクトロン韮崎文化ホールにて「もったいない風呂敷と百鬼丸の世界展」開催を計画中です。小池前環境大臣プロデュースのもったいない風呂敷や、著名人・有名デザイナーがデザインした風呂敷を展示します。

## ●投稿募集中

### 【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、500～600字の原稿と写真1枚です。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所等）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

### 【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。